

ダイエットしながら肌のバリア機能アップを実現 ダイエット素材・バラ果実エキスに経表皮水分蒸散量の減少を確認

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：岩崎泰夫）は、バラ果実エキスの8週間摂取により、体重、体脂肪率及びウエストサイズの減少を確認すると同時に、経表皮水分蒸散量の減少作用により、肌のバリア機能がアップすることを確認しました（図1、2）。

図1. ウエスト周囲長の減少量
(N=8の平均値)

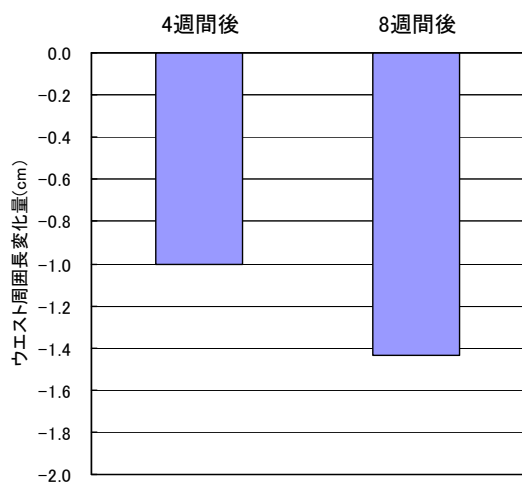
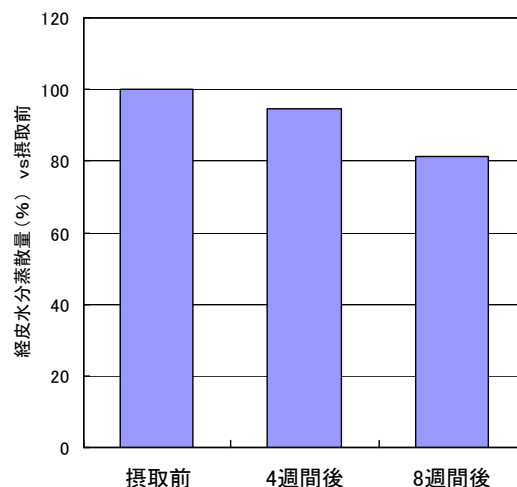


図2. 経表皮水分蒸散量の変化
(N=8の平均値)



近年、体の中で過剰なエネルギーを蓄積する脂肪細胞が肥満によって肥大化すると炎症性の物質を放出し、体内での炎症レベルを上げることが指摘されています。ポーラ化成工業では、この肥大化した脂肪細胞が体型を崩す原因になっているだけではなく、肌の炎症とも関連する可能性があると考え、脂肪細胞の肥大化を抑えることができる新たな脂肪燃焼素材の研究を行ってまいりました。

今回は、研究レベルで自律神経活動を亢進することが知られているバラ果実エキスを8週間摂取することで、体重、体脂肪率およびウエストサイズが減少するとともに、経表皮水分蒸散量が減少することを明らかにしました。バラ果実エキスが体内の過剰な脂肪を燃焼し、脂肪の肥大化も抑制されたために、体内(肌)での炎症が抑えられ、角層が隙間なく整うことにより肌のバリア機能が改善されたと考えられます。このことからバラ果実エキスは、多くの女性が望むダイエットと美容の両方を同時にサポートすることが期待されます。

なお、バラ果実エキスの脂肪燃焼作用のメカニズムのひとつとして、脂肪細胞中のUCP1（熱産生タンパク質）発現量の高まりを想定して、詳細な検討は進行中です。

ポーラ化成工業ではこの研究成果を含むバラ果実エキスに関する研究結果について、2013年3月27日から30日に横浜市にて開催される日本薬学会第133年会にて発表する予定です。

また、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラから、バラ果実エキスを配合したサプリメントを本年4月に発売する予定です。

【バラ果実エキスとは】

バラ果実エキス（※）は、南米チリ原産のバラ（学名：*Rosa canina* L.）を原料として、果実の中にある種子を取り除かず、果実全体から抽出して得られるエキスです。これまでに研究レベルで自律神経活動の亢進作用のほか、肝臓での脂肪燃焼の促進、腸管からの糖の吸収抑制など多彩な機能性をもつことが知られています。

※森下仁丹株式会社製

図3. バラ果実



【バラ果実エキス摂取試験について】

健常な成人女性 8 名を対象に、1 日あたりバラ果実エキス 100mg を含有する粒を 8 週間摂取させ、体組成と肌状態への影響を検討しました。体組成は体重、体脂肪率、ウエスト周囲長を摂取前後に測定しました、肌状態は、ダブル洗顔後、室温 20℃、湿度 50% の環境で 20 分馴化した後に、頬部の経表皮水分蒸散量を測定しました。その結果、体重、体脂肪率およびウエスト周囲長が減少するとともに、経表皮水分蒸散量が摂取前に比べて有意に減少しました（前頁・図 1、2）。